

2. 指標設定

成果指標	指標名	循環型社会の形成	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			里山・田園・水辺を守り育て、ごみを削減するため				
活動指標	指標	a	看板設置数	b	補助実施数	c		d	
	数値	目標	随時	目標	105件	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
循環型社会の形成		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 看板設置数	件	22 件	38 件	55 件
		—	—	—
b 補助実施数	件	95 件	94 件	69 件
		79.2 %	89.5 %	65.7 %
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
ごみの不法投棄が多く発生している。また、ごみの減量化等を図る必要がある。
対応（改善点等）
不法投棄に対しては広報、啓発活動を行い、家庭ごみの減量化を図る。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

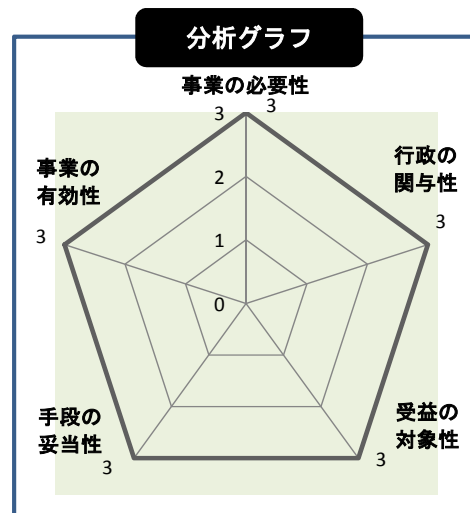
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		2,977	2,323	1,080	1,436
		1,879	2,066	933	1,193
財源内訳	国費				
	県費	129	128	73	121
	市債				
	その他	225	225	160	225
	一般財源	2,623	1,970	847	1,090
うち経常		1,654	1,841	773	968
事業費に係る人件費		5,160	5,153	5,231	5,323
事業費に係る人役		1.20	1.20	1.20	1.20

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を推進するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、環境保全に資するための啓発活動を含め、効果的な事業実施に努めること。